

氏名	溝尾 妙子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5038 号
学位授与の日付	平成 26 年 9 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Effects of lifestyle and single nucleotide polymorphisms on breast cancer risk: a case-control study in Japanese women (ライフスタイルと遺伝子多型が乳癌リスクに及ぼす影響：岡山・香川地域における症例対照研究)
論文審査委員	教授 土居弘幸 教授 荻野景規 教授 樋之津史郎

学位論文内容の要旨

これまでの疫学研究より、ライフスタイルや single nucleotide polymorphisms (SNPs) が乳癌罹患リスクに影響を及ぼすことが明らかにされているが、日本人を対象とした研究は少数である。本研究の第一の目的は過去に報告された乳癌関連 SNPs が日本人女性にも関連するか検証することであり、第二の目的はライフスタイルと SNPs が乳癌罹患リスクに及ぼす影響について検討することである。本症例対照研究は 472 名の case と 464 名の control を対象とし、ライフスタイルの調査と 16 SNPs の解析を行った。ライフスタイル因子の中で、高 BMI、喫煙は乳癌リスク増加と関連し、肉類、キノコ類、緑黄色野菜、コーヒー、緑茶、余暇の運動、高学歴は乳癌罹患リスク軽減と関連した。乳癌リスクと関連のあった SNPs は、rs2046210 (OR=1.37), rs3757318 (OR=1.33), rs3803662 (OR=1.28) であった。rs2046210 の risk allele 保持者であっても、余暇の運動によって乳癌リスクが軽減する可能性が示唆され、rs2046210 と rs3757318 の risk allele 非保持者であっても高 BMI、喫煙によって乳癌リスクが増加する可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、乳がん関連 SNPs が日本人女性にも関連するかどうかを症例 472 名、control を 464 名とした症例対照研究により検証したものである。思い出しによる自記式アンケートでは、バイアスが問題となるが、サンプルサイズの大きさが多少カバーしていると思料される。本研究では、先行研究で明らかではなかったライフスタイルの因子の中で、肉類、キノコ類、緑黄色野菜、コーヒー、緑茶、余暇の運動、高学歴が乳がん罹患リスク軽減に関連することが示された。

また、乳がん罹患リスクと関連のあった SNPs についても同定している。rs2046210 の risk allele 保持者であっても、余暇の運動によって乳がん罹患リスクが軽減される可能性についても検証している。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。